滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
横濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫勤 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室
百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

來ル廿五日ヨリ三十日迄支那正月ニ付臨時休業致候也

明治三十九年一月廿二日

横濱正金銀行 牛莊支店

淸酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部 河岸通(電話五十二番)

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所

大連市穩岐町三百三十八號 日華運輸公司
遼陽 遼陽倶樂部 谷口今朝太郎

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今同倉庫所在地(元堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候(電話百二十八番)

宅合名會社

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名擧己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院内分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋胰鏡表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客一賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屆臨爲幸

總司理人 田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀鏠兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便國貯油餅豆米麥更爲合宜象置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意彙賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己并另設銀爐包鎔鑄以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙衛船交易南北客商歷有年矣爲此謹白

開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

德商 瑞生洋行

啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議

營口西街潮溝西本行主人啓

代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(捷利)百合花牌(利利)均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

玆爲軍用手票公定行市變動敝行販賣各種紙然雙鶴牌(隆沽來福)百合花(利利)櫻花牌(捷利)星象牌(斯達)無論批發零售均爲格外減價倘蒙賜顧以廣招徠

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任産婆大道しげ子)

院主 森 繑
醫長 鈴木昌平
營口永世街(電話一五五番)

M. Iizuka,

CONTRACTOR,

ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

謹告

昨年八月下旬營口秋田組閉鎖以後韓國の事業に着手致居り遼東北淸地方の營業は一切不仕從而店員等派遣致候事無之處頃日秋田組或に秋田商會の社員と稱し各地徘徊不正の行爲なすもの有之由聞及候得共弊商會には全く關係無之候に付此段爲念謹告仕置候也

明治三十九年一月

韓國仁川 合資會社 秋田商會
代表社員 秋田毅

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號
大淸通運公司 營口支店

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣

江副洋行 營口永世街

各種材木 廉價大販賣

塩川商會 營口永世街一本町

和泉洋行

本店開設在營口東盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

營口永世街第一八四號平野町

材木販賣 荒物

秋田洋行

本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

倉庫業

倉庫位置

營口綏定門街(公和窰)院內
郵船會社碼頭ヨリ西二丁余商船會社碼頭筋向イ河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置

新玉號倉庫部(電話一五七號)

雜貨卸商

在元營口神廟街

關東公司雜貨部

代理 道勝銀行

啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也

德商 瑞記洋行代理人謹啓

青豆價錢五吊九百文至五吊五百文
小米價錢六吊九百文至六吊二百文
紅糧價錢五吊二百文至五吊
合豆價錢四吊八百文至四吊七百文

赤味噌 全 同四圓
札幌麥酒 大樽 同九圓三十錢
蜂印香竄葡萄酒 四打入 同九圓八十錢
全 同二十二圓五十錢

梨 桃 人形 ミルク 四打 同十一圓 同八圓五十錢
全 同九圓五十錢
全 同十二圓五十錢

澤龜 正味四斗四升入 全 十四圓五十錢
サツポロビール 全 十七圓
九圓七十錢
(宅合名會社調査)

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office, Newchwang.
Telephone No. 29.

一ヶ月以上ノ長期連掲ハ減價面議
發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

東京電報　(一月廿三日特別通信員發)

●韓國報聘使の着京　韓國報聘使李載完君一行本日着京直に帝國ホテルに入る

北京電報　(一月廿四日特別通信員)

●日清協約の批准交換　昨日午後四時我内田公使は外務部に至り日清協約の批准交換を行ひたり

●露清協商開始の承諾　北京駐在露國公使は露清協商を開始することを承諾せり其談判開始期は正月の休暇濟み次第取掛らるへし

倫敦電報

●勞働黨の獨立團體　英國勞働党は議會に於て獨立の團体を形成し自由党若くは保守黨の政派と同視されさらんことを期せり

●バ氏落選と院內總理　前首相バルフォア氏は落選の爲め議會開會前に議席を得べき見込なきを以てエーカースドグラス氏代て統一黨の院內總理たるべし

●船長の辨解　汽船ザイテン号の船長はコロムボに到着の上斷言して曰く末松男爵に對しては出來得るだけの敬意を表せり而して上席を與ふること能はさりしは既に同席を占めたる乘客ありしを以てなり同男爵がザイテン號に便乘されんとは余の豫知せさりし所なりと
(以上一月廿二日發電)

雜報

●乃木大將へ勅語　乃木第三軍司令官去る十四日參內復命の節賜はりたる勅語左の如し

勅語

卿第三軍ヲ指麾シ堅固ナル旅順要塞ヲ攻略シ且同港ニ據レル艦船ヲ擊沈シ爾後各地ノ戰鬪ニ咸ク偉功ヲ奏シ克ク其軍ノ任務ヲ達シ洵ニ朕ノ望ニ副ヘリ
朕今親シク作戰ノ經過ヲ聽キ更ニ卿ノ勳績ト將卒ノ忠勇ヲ嘉尙ス

●政憲提携の程度　は今度開くべき交渉會に於て決定さるゝ事なるが今期議會に於ける政界の分野は從來と異り兩黨の外大同俱樂部の樹立するあり並に政府者の地位に立ちし政友會は憲政本黨と何時手を斷つや知るべからさるに依り此際大同俱樂部を無視せず常任委員の如きも三派の按分比例となさんとの議一昨夜の內定會議に於て決定されたれば結局三派の按分比例となるべく尤も常任委員全体の人數を按分比例とし豫算委員の如き重要なる委員は政憲兩黨の獨占する事となるか大同俱樂部にも豫算委員の席を與ふる事となるかは政憲兩黨交渉の結果に依って決定すべく而して其結果如何に依り兩黨提携の程度を測知し得べし

●俘虜引渡完了期　露國俘虜引渡は横濱、四日市、長崎の三地より引渡されたるが之が引取船八艘は引續同俘虜を受取り次第浦塩斯德に輸送しつゝありて引渡完了は一月末迄の豫定なりしが其後露國の輸送計畫に多少の狂ひを生して二月八日を以て全部引渡を受くる事と爲れり最も横濱に於ける引渡は十八日を以て完了すべき筈なりと

●乃木大將の謙德　旅順の攻圍半歲の長きに亙り苦戰惡鬪遂に敵將をして降を軍門に乞はしめたるも部下幾万の健兒を亡失したるを深く遺憾に思ひ北進して奉天の大會戰に參加の命あるや深く決する所ありし者の如くなりしが其事畏くも天聽に達し特に御使を以て自愛自愼すべき御沙汰さへ賜はりし程なりしに同會戰にても乃本軍は補充不足し敵の主力と衝突したる爲め非常の惡戰を行ひ某聯隊の如きは殆ど全滅して僅に一個小隊を剩すに過ぎず全軍の損害は他の三軍の總數に比するも尙多かりし有様なれば親しく第一線に出でゝ深く敵の標的たらんと期せし事一再ならず其都度幕僚の爲に强制的諫止を受けて僅に止みたる位にて幕僚諸氏も深く大將の心事を諒とし居たる由殊に其凱旋して大元帥陛下に復命するや部下將卒の忠勇義烈陛下の萬歲を喚呼し欣然として瞑目したりと特記し剩さへ自巳作戰の失策を寸毫も包む所なく悉く列記し恐懼奏上したるが如きは他司令官中其比を見さる所にして大將の謙德今更ながら實に景仰に堪へずと某將官は物語れり。

●旅順要塞の經營　旅順の要塞たる天然の險阻に加ふるに露國が多大の費用を投じて築成せるとなれば其要害無雙なるとは露人が難攻不落を確信せるを以ても概知し得べきが今や此要塞の我手に歸してよりは更に其經營を大にし層一層難攻不落の實を全くせさる可らさるは言ふ迄も無し今右に就き伊地知旅順要塞司令官の談に依れば今後年々要塞の經營費許の經費を要するやは未だ公表の時期に非ざるも巨費を要する部分ば大概露國の遺せるものにて再び利用せらるべげれば每年約五十萬圓もあらば事足るべしといふ

●露國前藏相の成功　現今巴里に於いて露國新公債募集に關し協議中なる露國前大藏大臣コヽゾフ氏は金貨本位保護に關する談判を締結せり又巴里の銀行家は三億法を露國の新公債に對し拂ふへしといふ

回向院之大相撲(常陸山)

●第六十三聯隊の轉營　牛家屯守備隊として目下同地に駐屯せる第六十三聯隊は今回大連守備に轉營すると爲りたるに付今二十五日晚軍政署官舍に於て石黑聯隊長主人と爲り官民の重もなる者を招待し留別の宴を張るといふ尙第六十三聯隊の交代として第六十一聯隊牛家屯の守備に當る筈にて本月末には多分交代すべしといふ

●長岡少將請待會の模樣　長岡少將の爲に與倉司令官主人公となり一昨夜を以て軍政署官舍に請待會を開催せし事は前號記載の通りなるが今ま當夜に於ける模樣を概記すれは長岡少將は隨行員と共に席し石黑大佐、江戶川少佐、若曾根少佐、[illegible]等の各佐官併に瀨川領事黑澤副稅務司、朧山租隊長、中村正金支配人、長崎技師、其他數名の官民其四方を圍繞して列座し與倉司令官堀井憲兵長浚村副官其他署員の主なる者數名も[illegible]席に從ふ斯て一座の人員悉く揃ふや與倉司令官徐に身を起し長岡少將に對し一場の挨拶を述べ次に同少將の答辭あり終りて第三樓の美姬十餘名新に出る在り此に酒宴開始せられ美姬巧に满間に斡旋し歡聲笑語暫時止むなかりしか十時過を以て漸く散會となれり

●昨日の長岡少將　滯在中の長岡少將には昨日は領事館の午食に臨席し又同夕刻には金城館に於ける日本人會の招待會に出席せられたり

●與倉長官の北京行　與倉長官には戰用向を帶び北京に赴かるべしとは兼て聞き及べる所なるが愈々明二十六日出發せらるべしといふ

●正金銀行の休業　本日より陰曆正月に付當地正金銀行支店にては來る三十日迄休業すといふ

●長岡少將の出發　同少將には本日江戶川少佐と共に牛家屯發汽車にて出發遼陽に赴かれたり

●火の用心をすべし　滿洲獨特の冱寒今や日一日と其度を增し去日の如きは攝氏寒暖計氷點以下二十度乃至卅度を示し室內にても水氣のある諸物品は悉く氷結し加之ならす酒石油の如き容易に氷結せさる流動物も近來の寒さには辟易せしと見え薄氷を張るが如き有様にて自然各自の躰にも一層の寒さを覺え之が豫防に種々の方法を講じ誤つて火を失する事往々あり現に昨今小火なれとも諸處に出火あるを耳にせり今更吾人の云ふ迄もなき事なれども一朝火を失し大火に至らんか防ぐに水は氷結し其上當地の如きは消防の機關備はらす各自が辛苦經營の財產は瞬く間に烏有に歸すべければ竈の如き炬燵の如きストーブの如きランプの如き最も注意を要す近來發賣の消火器などを一二個も備へ付け置かんには最も輕便にして急場の防ぎには十分の効驗あるべし兎に角今に於て各自夫々豫防の方法を講じ充分の用心肝要なり

●我が半日の安息　編輯小僧

▲昨夜鷄鳴を聞いて漸に入り、何時もの朝寐坊、今日は通り過ぎて晝寐坊と爲り、一時過ぎ起き出づ。天氣もどんよりとして頭重もければ編輯を同人に托して何處を宛てとも無しにブラリと出掛く。

▲まだ朝飯も晝飯も濟まざれば、とある旅亭に入る。左右兩座敷には此眞晝間をドンチャン騷ぎ立て極めて殺風景なり、ボーツマスの屈約にまだ夢醒めやらず、斯る閑氣の阿呆鳥もあればあり、流石は戰爭の餘澤なり。婢に命し此客人は大食官樣なれば御飯を用意せよといふ、鳥の鋤燒を持ち來る、是れも眞逆阿呆鳥ぢやあるまいと尋ぬれば、ルーなりと答ふ、ルー!ては何んぢやと反問すれば、あひるにて候と申聞かす、無粹な予れにはツイ迂濶せりとて果ては笑に入る。他に用意出來得べきやと問へば御口に合ふ物は出來ずとのすげなき挨拶に興をさましたるが、遊女屋に來りて食事のみせんは、注文する者の野暮と心得、唯た饑を醫して出づ。

▲公園內をそゞろ歩るきて遼河の畔に出づれば、河水全く氷合して復た前日洋々の水流を見ず、河幅もいたく狹くなりたるやうなれども、黃塵堆裡に出頭沒頭して滅多に編輯室より出でたる事無き予れには、始めて營口にも此廊濶の天地あるを知らしめたり。チャンの高粱殼などを擔ひて氷上を橫切るを見る、巳れも向岸迄行かんかとも思ひたれど、由無き物數寄迄もと思ひて止みぬ。

▲轉じて領事館に抵る、珍らしき種を拾はばやとてなり、併し耳の敏き同人の漁ざりたる後なれば、迂濶の予等に左る氣の利きさるもの丶落ち居る筈なし、執務の妨げせんは然るべからずと察して、夕方佐藤君に往訪を約して再びブラリと出づ。

▲軍政署官舍を眞直に唯た南へと行く、數畝の圃地と兩三軒の土屋と、一斷一續、行けども〳〵千篇一律、何の興味も無し。折柄冬枯れの梢に、群れを外づれたる一羽の鴉、ぽつくねんと止まりて淋し氣なり、愚かなる者よとは嘗て讀本にて學ひたる所なりしが、今や圖からずも我身に思ひ當りて、カアの一聲勵しく我を刺激しぬ、寒さは寒むし、日は曇りて氣尙晴れず、乃ち踵をを轉じて再ひ領事館に抵る。領事に見付けられてお茶の案內を受く、薄暮前約を踏んで佐藤君を訪ふ。

▲夫妻對酌の席上に陪食仰せ付けらる、酒飮みのおつきあいは有難迷惑なりとて獨り先きに飯を食ふ。畢つて將棊でもやらうかと揶揄せらる、勝敗の決は戰はずして我に在ると勿論なれども、仕掛けらた喧嘩ならば買はずはなるまいとて對局三面、一度勝つて二度勝たす、結局頭の洗濯と爲らずして辭し歸る。

▲途中某氏に遇ひ某所に飮む、一醉陶然、肚に歸つて塵の三寸も溜まつた、氷の如き冷めたき床にもぐり込む。

●注意　陰曆正月に付明二十六日及び明後二十七日の兩日は休刊

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
遼陽	着午後	三、五〇
	發	四、五五
大石橋	着	一〇、三二
	發	一一、三五
金州	着午前	二、二〇
	發	三、一〇
大連	着	五、三二

營口線　上り列車　下り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三二
大石橋	發午前	一、〇〇

天氣　營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●清國に於ける立憲政體の準備（承前）

伯爵　板垣退助

立憲政體實行の難易

人或は支那に於ける立憲政體實行の難易に就き疑ふ者あり、然れども予は之を我が國に比し、寧ろ其の行ひ易きを惟はずんば非らず請ふ聊か之を説かん。抑我が國にては、古來士族が社會の中心にして、凡ての善なるもの、美なるものは、皆な宛も酒精の蒸發して上れるが如く、下層社會一般の民人より離れて少數なる上層の士族社會に蒸溜し集結して士族は誠に立派なる性格徳行を有する者と爲りしも、一般社會には糟粕のみ殘留せるの觀を呈し、其極士族の理想は甚だしく金錢を賤め諺にも、『武士は喰はねど高揚子』と謂ひ、或は「はかなき者は武士の道」と評し、金錢利祿其他物質上の事を輕んじ、又は斷念せる一方の極端に走れるに反し、本來利と義とは離る可らさる關係を有せるものなるに一般下層の人民は全く利と義を區別し、義は士族の事にして我々は利をのみ重んせさる可らずと云ふ風にて、唯眼前の小利を貪る素町人根性を養成し、義を知らす理を知らず、世界に對して最も恥づべき我邦の商人を作れり、聞く處に依れは山陰地方にては十一月の八日とかに「ヲツツキイワヒ」と稱して平素の虚言を祝ふと云ふ程となれり、故に立憲政の今日、選擧の事の如き多數の社會は僅かの金錢にて地方及び國家の利害を犧牲に供し、收賄盛んに行はるゝが如き惡弊の拔き難きものあり。

然るに支那の人民は然らず、支那にては善なるもの、美なるものは上流の官吏社會を離れて、却て下層多數の商人なとに沈澱し居れり、則ち支那一般の人民は財を愛すること甚たしく、其結果利の義を離れて得べからさるを知り、利の爲めに徳義を重んせさる可らずと爲し、上層の社會即ち官吏社會等の敗徳汚行夥風殊に熾なるに倣はす、彼等は信用を重んずること甚しく商業道徳の如きは世界無比に發達し居りて、到底我が國商人の比に非ずと云へり、果して然らは齊一變して魯に至り、魯一變して道に至らんと言へる如く、支那人が立憲治下の民となれは、各自永遠の利害の爲めに政治の重んす可きを自覺し、國家の事、例へは選擧の如きも、自家の利害より打算して自ら之を大切にし、却て我國よりも誠實に適當なる人物を選擧するに至るべし、故に予は自家の利害を何よりも重んじそれが爲めに徳義を守る支那人の性格より考察して立憲政治は却て行ひ易く、我が國よりは、其効果の良好なるものあるべきを惟はずんば非さるなり。（完）

●過爐銀に就て（承前）

▲過爐銀の性質

過爐銀とは一種の信用の貿易媒介の用に供したる物にして銀と稱すれども有形の銀にあらす只銀爐の帳簿に存在する債權を甲より乙、乙より丙と振替へ讓渡し貨物賣買の媒介を爲し貨幣の代用を爲すものなり年三回即ち六月一日、九月一日、十二月一日に於て銀爐の貸借を精算し元寶銀を以て決算す可きものなるを以て融通期間は六ヶ月なり期間に利息の割合の精算とし算出したる加色と稱するものを支拂へは元寶銀に交換するを得加色は利息を意味するを以て六、九、十二月の一日に近寄るに從ひ漸く減少し過爐銀は期日に至り全く元寶銀と差違なきに至る可きと尚本邦にて割引手形の割引料は期日の近くに從ひ減少し期日に達すれは皆無となり手形所得人は手形面の金額を得ると同樣なり當地取引の大部は過爐銀に依て行はる過爐銀は三月一日に起り六月一日に決算なし同日後九月一日に決算する新規過爐銀を使用し九月一日後は十二月一日に決算する新規過爐銀を用ゆ十二月一日より三月一日までは新規過爐銀を使用するを許さす是此期間は遼河は氷結し船舶の往來絶へ內地と陸上貿易のみとなり現銀取引と爲り過爐銀の用途少なきと一は銀爐の之を濫用するを防ぎ又信用の確否を試驗する爲なり

三月一日より六月一日に至る過爐銀を元寶銀に交換する加色の相庭は二月初旬より六月一日より、九月一日に至るものは五月初旬より、九月一日より十二月一日に至るものは八月初旬より相庭を開始し過爐銀の先物賣買豫約をなす又豫約したる過爐銀を以て貨物の賣買を爲すを得豫約にて賣買したる過爐銀を過卯銀又は卯後銀と稱し當期間のものは頭卯銀又は卯前銀と稱す過爐現銀とは五六年前より元寶銀の拂底なるとき銀爐は元寶銀の支拂を拒り過爐銀期日に達するも容易に元寶銀を以て決算せさるより期日に達したるものに此名稱を附し元寶銀と交換するには交換打歩を出し過爐銀と交換せは加色を得ることなれり

▲過爐銀の得失

過爐銀にて物を賣買すとは掛にて賣買するの言にして信用の發達したるものなり且つ整理監督宜きを得る貿易媒介物の至便なる者と云ふへし貨幣の代用を爲し硬貨を節約し受授を容易にし從て手數と時間を省き硬貨の磨滅を輕減し期間は只銀爐帳簿上の振替のみにて幾万の取引にても爲を得へく幾千百萬の融通も爲すを得へくして取引は載せて詳細帳簿に在り故に支拂の有無に付證左あり其便益決して少からすと雖も之に反し整理宜きを得す監督法を誤らは其弊害も亦甚大なり蓋し過爐銀は銀爐の信用に基くものなるを以て銀爐は自己の信用を出來得へき限り廣く融通使用せんとするより動もすれは過爐銀濫用の弊に陷り易く其結果は期日に達するも決算を曖昧模糊に付せんとし金融界を攪亂し貿易の阻礙を爲す少からす過爐銀の一昂一低常なく變動甚しき時は銀爐の奸策を逞ふする時にして其變動甚しき時は其紊亂したる時其紊亂するは基礎の鞏固ならさる人あるに依る

▲過爐銀取締法

過爐銀の弊害は基礎の强固ならすして銀爐の之を濫用し易きに在りとせは過爐銀をして兌換の性を失はしめさるに在り即ち一年三回の期日に決算を勵行し三月一日に起りたる過爐銀は六月一日必す之を決算せしめ了りたる後六月一日より九月一日に終る新規過爐銀を發せしめ九月一日之か決算を遂行し而後更に九月一日より十二月一日に終る新規過爐銀の發出を許し常に嚴重なる監督を爲し貨幣に必要缺く可らさる確實にして恒久不變の性を帶しめ一期の終りに各銀行より過爐銀の發出高并に過爐銀貸借明細表を監督署に提出せしめ監督署は精細に之を檢査し虚僞あるものは嚴罰に處し又は營業を停止し又昔時我國にて國立銀行に紙幣の發行を許したる時發行する紙幣の高に應し公債證書又は有價證券を大藏省に納め保證金としたる如き方法を取り過爐銀を發する銀炉は公債證書又は保證金を監督署に提供せしめ該濫用を爲さゝる保證を爲さしめは濫發を防ぎ安全に貿易の媒介物たらしむるを得ん

●歐米と日本兵士の比較

佛蘭西の將校は行軍に化粧道具お白粉を携へる舞蹈や演劇の爲めに

▲和蘭では兵士の教練は丸で遊び事で支那の兵隊訓練と能く似て居る練兵場へ調練の時間を當て込んで酒や菓子や色々の行商人が集る

▲英國の陸兵は贅澤天下一

▲米國の兵は一種の日雇ひ勞働者である

▲伊太利西班牙の將校兵士は怠惰者の集まり

▲獨乙の陸軍と英國の海軍はやゝ話せる

▲併し日本の如く海陸共に一の欠點無きは眞に萬國無比である

●正誤　昨日の過炉銀中誤植の個所少からさるに付左に之を訂正す

第三段第九行遼陽の地よりは遼隔の地の誤

仝　第十四行　一ヶ年經過したる後は　一ヶ月經過したる後の誤

仝　第二十一行過炉銀としては過炉銀のみをの誤

仝　第二十三行銀炉を發したるは銀炉の發したるの誤

仝　未行近きに至らん　は近きに在らんの誤

廣告

告示

關東總督府陸軍大將男爵　大島義昌

出示曉諭事照得横濱正金銀行向於上海天津牛莊等埠專爲利便交易起見發行銀元鈔票所有納欵諸凡交易均用該票無異銀元通用極便商賈爲之暢通實於商務有益已爲人所共知也及至滿洲前爲兵燹之區我日本軍隊使用軍票是以該銀行暫行緩發者也日俄和平滿洲一帶全歸安靖商務亦將見其盛日之興旺我軍隊隨即逐漸撤退所發軍票亦應收回於是横濱正金銀行茲奉我日本政府允准一面再行發票一面備銀備換以便商務而資滿洲貿易之發達爲此示仰各色人民紳商等一體知悉爾等嗣後即將該銀行所發鈔票視同軍票均須通用勿得懷存猜疑可也倘有奸譎之徒謠言惑衆碍難通用以博漁利者一經査出立即從嚴懲辦決不寬貸各宜遵照無違特示

明治三十九年一月

告示

横濱正金銀行ハ從來上海天津牛莊等ニ於テ諸般取引ノ便利ノ爲メ銀元ト引換ヘキ一覽拂手形ヲ發行シ來リシカ右ハ各種ノ公納其他一般商業上通融ニ資スル處多大ナリシハ業ニ已ニ普ネク知ル所ナリ曩キニ滿洲ノ地戰爭ノ區トナリシニ際シ日本軍隊ハ主トシテ軍用手票ヲ使用セシヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ニテハ一時一覽拂手形ノ發行ヲ見合ハセシモ今ヤ平和回復シ滿洲ハ茲ニ全ク安靖ニ歸シ商務モ亦正ニ舊日ノ旺盛ヲ見ントス而シテ漸次軍隊ノ裁撤セラルヽコトニ從ヒ軍用手票モ亦之ト伴フテ交換回收セラルヘキヲ以テ横濱正金銀行牛莊支店ハ再ヒ一覽拂手形ヲ發行シ舊ノ如ク商務ノ便ニ供シ益々滿洲貿易ノ發達ニ資スル所アラントス右一覽拂手形ハ日本政府ノ認許ヲ得テ發行シ銀貨ヲ準備シ隨時交換ノ用ニスルモノナルヲ以テ汝等人民ハ之ヲ信用シ軍用手票ト同一ニ公私一般ノ取引ニ受授通用シテ毫モ疑フアルヘカラス若シ夫レ奸譎ノ徒妄ニ浮説ヲ流布シ流通ヲ妨害シ以テ利ヲ博セントスルモノアラハ立トコロニ嚴罰ニ處シテ決シテ假借セサルヘシ各遵奉シテ違フ勿レ特ニ示ス

明治三十九年一月

關東總督男爵　大島義昌

告示

登記規則中改正の件

不動産登記規則中左の通り改正す

第十六條第一號中「千分の五十」を「千分の三十」とし同第二號「千分の十二」とあるを「千分の十」とす

告示

撫順大野兵站司令部にて來る三十日午前九時左の食用品及び糧秣品を競賣に附す二十五日より現品の縦覧を許す

競賣品目

干飯七十石携行牛罐二千八百三十六貫普通罐詰肉一万二千四百十四貫塩鯛三千二百四十四貫茶三十五貫砂糖六十貫甘味品十四貫干魚六百三十貫干野菜一千百二十五貫醬油エキス五貫精米二十九石割麥二十石

牛家屯兵站司令部

御忌法會

來る二十五日午後一時（營口時間）より修行

法然上人は日本念佛の元祖なれは宗の同異を問はす念佛を信ずるの人は參拜し報恩あらんことを案內申上候

永世街通り二本町西へ入る南側四軒目

一月二十四日　淨土宗開教場

追て毎日曜日午後一時（營口時間）法話開筵

藝妓仲居新來御披露

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

營口　高砂　高砂ホテル（電話一四五）

東營口郵便局東隣　島田洋服店

新民屯停車場前　同　支店

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工　輕便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般

（營口綏定門ブリツシ商會東街）　川喜鐵工場

營口永世街　營口印字局

開業廣告

會席御料理　高等御旅舖

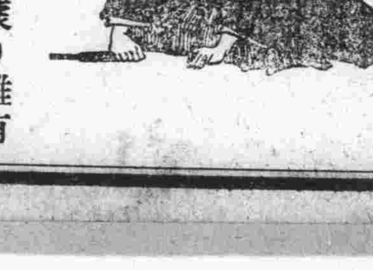
弊店儀三十三年開業以來各位樣の御引立に依り日に月に繁榮を蒙り難有今後引續き御贔屓を仰き幾分の御報謝仕度就ては今回滿洲第一のホテル奉天府滿洲ホテルを買受け來る二月一日より旅舘及料理店開業可仕候に付彼の地に御出の節は是非共御光來の程偏に奉願上候尚各店共勉强專一に仕精々御便利相計可申尚新に藝妓酌婦を呼寄候に付御引立の程願上候也

月　日

本店　天津日租界　金城舘（電話二二四）

支店　營口永世街　金城舘（電話八三）　金城ホテル

支店　奉天府小西門外　金城舘（電話特二四）　金城ホテル



特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱主極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候

金城ホテル　旅舘部

藝妓仲居新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粹の江戸ッ子

金城舘料理部

慶樂温泉

清水滾々湧出

永世街一力南側

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

謹賀新年

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

博文館營口代理店
書籍、銘茶
賣藥、雜貨商
大坂屋

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

あさだあめ
淺田飴

肺癆痰喘氣急傷風𤸎𤸎小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のより◎弱き人の滋藥

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

標子
木板
發賣 料木

營口青堆子
清水寧木局

澤亀ハ醇良にして風味高尚なり

並ニ 札幌ビール 朝日ビール 政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和 酢 醬油 瓶詰樽詰 菓子 鑵詰色々 洋酒類 取次販賣

醸造發賣元
大阪府堺市九間町
北海道小樽港町
臺灣臺北街書院
臺灣基隆街石牌
臺灣臺南街下南河
北海道函館區辨天町
清國遼陽城內西街
清國大連監部
清國牛莊港東營口

合名會社宅
本店
小樽支店
臺北支店
基隆支店
臺南支店
函館出張店
遼陽出張店
大連出張店
營口支店

雜貨
醬油 味噌 清酒
營口西北街
阪神組

官製口付莨、文房具
和洋酒類 白米
罐詰、菓子
藥品、雜貨 卸商
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣

營口西北街
(十一) 豐生洋行
(電話十三番)

正札 特別廉價
雜貨
賣出し

一婦人髮道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋
永世街森病院隣
和清洋行
志田ます

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)
(電話百二十七號)

寫眞 永清
奉天府 大南門裡路西

酒保品
諸雜貨 卸商
神崎洋行
營口永世街甲百廿七號警務課前
▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

大日本帝國醫科大學模範藥局御用酒
攝津灘石崎合資會社釀造

澤之鶴
醇良清酒

滿洲特約大販賣
(周) 裕和盛號支店
清國營口西北街
電話八十一番

裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

裕和盛本支店所在地
○本日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘
旅順、鐵嶺、
○支店韓國京城、
仁川、木浦、

澤之鶴は 鑠美天ある定に評既
裕和盛は 清商中日本通の張本

御旅館
奉天
茂林館
小西邊門內路北

日本物品依托賣買幷ニ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ

追テ 家屋宏壯接待優遇

論說

論坐言起行

天下之理至微也、言以闡之、而無微不顯、天下之理至虛也、行以踐之、而無虛不實、言者、行之根據也、行者、言之歸宿也、言必顧行、行必顧言、君子所以愼發其樞機、而力求實踐、不敢託之空言也、洎人心日下、而輕世肆志者流、遂爭以言論相高、絕不顧其行之不逮、晉之清談、宋之道學、類皆以此爲天下詬病、識者弗取焉、雖然言論之禁太嚴、則道路以目、而公是公非、莫由表白、其行亦惝恍而無憑、河南邵堯夫、宋世大儒也、居洛三十年、而就學者衆、鄉里化之、遠近尊之、賢者悅其德、不賢者服其化、先生之功亦大矣、何貿於坐言也哉、而當時顧以言而未行惜之、惜之誠是也、獨不思言果有益於世乎、不必自爲行之也、而人皆奉而行之、言果無益於世乎、尤不可自爲行之也、而人且反而行之、且是未知西人之重言論者、其用意爲何如、其收效爲何如耳、英吉利今之强國也、當女皇維多利亞時代、發達一切思想界者、有四人焉、曰達爾文、曰蓋達爾、曰赫胥黎、曰斯賓塞、或以物理學名、或以神學名、或以社會學名、皆能取人類之生活、世界之理想、闡發盡致、毫髮無遺憾、功誠偉矣、而斯氏尤集其大成、萃羣說爲一家、身沒之日、如美國紐育太陽報、德蘭士格立報、紐育晚報、靡不揭其肖像、叙其履歷、捃摭其生平學說、以告國人、以銘欽感、蓋進化論之始創者斯氏、進化論之宏布者、亦斯氏、斯氏之爲英國重、而並爲全球之所重者、重其言也、重其言無妨於行、而實有利於行也、言也行也、一而二、二而一也、必故爲區別、則有以爲兩事者、而豪放之士、或更創自由平等之說、長言之而不已、大言之而不慚、初不計行之所終極也、且有以爲一事者、而迂濶之人、或且守括囊無咎之箴、謂多言者多凶、少言者少戾、而一聽行者自爲政也、言行一有容心、坐起必皆有咎、坐而言矣、不決其行也、亦不決其不行、起而行矣、不拘其即爲言者、且不拘其不爲言者、孔孟能言者也、而尺寸未操、言且爲天下法矣、秦商鞅、宋王安石、果於行者也、而鹵莽僨事、行且爲天下害矣、故曰、坐言起行、一而二、二而一也、

中外要聞

●西藏辦事大臣之電告　昨四點鐘二刻外部接到西藏辦事大臣電告藏地近日德俄法等國之人雜處其間每於有鑛苗之地窺探測繪本大臣誠恐各國暗結愚番別生枝節爲此特希大部速催中英定議以免藏地多端交涉云云外部自接來電即稟請堂憲辦理當晚邢爭堂交諭作速電達接議藏約張大臣迅與英員開議一面寫具照會照會英使

●駐京俄使之照稱　外部接俄國駐京璞大臣照稱貴部以伊犂將軍電告該地俄人帶械結隊入境等因前來本大臣當即電詢旋接電稱貴國馬匪時出刦掠俄商不堪其苦是以搭帮帶械自行保護入伊通商貴部大臣如必拘以帶械與約章有違儻俄商遭逢意外當由貴部擔承責任本大臣即電告俄商將器械解回免致貴大臣復生疑慮云云

●法國學生前往蒙古　法國公使照會外部謂本國學生四人前往蒙古游歷請貴部給予護照等語外部已允照所請矣

●俄國欽使亦請護照　俄國公使照會外部據稱中國奉敎學生六人本國學生二人前往九江傳敎懇請貴部寫給護照並沿路文憑經過府縣等處以資體恤保衛等語

●美國聲稱無故將敎民毆斃　美國譯員昨至外部聲稱清河地戶王有福無故將敎民毆斃縣官至今尙未傳審請貴部大臣速飭該地方官審判將來案結作何辦法請貴部粘連此案供詞附入照會再定賠償之數云云

●改定服制綏議　皇太后垂問軍機政務大臣云爾等所議官員改定服制頒行各省否各大臣奏對尙未頒行　皇太后諭云所有改定服制各摺奏均着緩議軍機政務大臣唯唯而退

●鐵尙書諭飭各司員淸查案件　聞戶部鐵尙書履任以來實力整頓論飭各司員淸查各該處案件詳細開單呈堂查核並飭顏緞各庫承辦書吏查各省應送顏料緞疋某省應解及欠解折色按照各省詳細開單以便容催解部而免遲延

●肅邸電舉喀拉沁親王　聞肅邸電致政府以此次奉命前往蒙古査辦事件責任重要已在蒙藩中擇其通達時局熟悉情形者奏請襄辦擬舉喀拉沁親王帮辦一切云聞政府亦頗贊成而資臂助云云

●薊州賊匪勾結　聞順屬蘇州一帶時有馬賊勾結上匪滋擾各地方聞政府已飭練兵處調派馬隊前往勦辦以衛閭閻而保商旅云云

●擬將計學館暫行裁撤　聞戶部尙書張大司農前擬在三庫檔房公所內設立計學館一節早誌報端茲聞自鐵尙書到任後詳查計學館毫無成效實因經費甚鉅故鐵尙書會商各堂擬將計學館暫行裁撤俟庫欵充裕再議開辦云云

●伊藤統監對待韓國之意見　頃日統監伊藤侯爵語其對待韓國之意見云予今次承乏韓國統監赴任該國至少亦五六年間當膺大任不惟芟除積弊且令韓國蒼生增益幸福予胸中已有成竹吾朝野人士須暫不置喙其間以徐待余日後之經綸但有一事可請諒悉即統監事權非所以凌辱韓國官民而宜勸導而扶掖之以養成爲國民之資格格是已際此之時從來所有無賴日人必宜速行逐退以使韓國官民有所信爭此爲余第一着手之處故予之監督事權不少寬貸爲此輩日人所不悅或在不免然此一事余有所自信者如區區人言非其所顧忌也云云

雜報

白話告示照登

署承德縣正堂孟諭禁事現在時局無論立國立家立身要不能够自强也就難以自立了本縣爲你們地方官必得想法子要你們自强那自强皆道理有箇說法也不是胡行的也不是妄爲的總得學生專心向學商人推廣事業農人研究物理工人講求製造各人全有一分勝人的眞本事天下事事物物也要明白明白這纔是自强的根基呢但是你們素日的風俗嗜好多是邪魔外道一點眞實道理也沒有不但妨害你們自强的心思並且引出胡作非爲不顧廉恥的事情來你們傳染這樣風俗自强的心那有不消滅的呢本縣要想敎你們自强故此先由改良風俗辦起把害你們自强的影子去了你們好望那正道兒走啊今天先揀最不好的邪魔外道一條一條說給你們你們大家聽着趕快改了罷

一是宣講堂內的扶鸞宣講堂是爲開民智設的總得講講聖論廣訓勸善要言兼那時事新書新報好敎衆人知道愛國的道理自强的根基絕不是迷惑人的地方扶鸞這宗事一點眞理也沒有就說請來的神罷全是古時的名人那古時名人今時頌仰他因爲他生前的學問作的事業又高明又與衆人有益故此把他頌仰起來好敎後人照着去學他生前爲人作事能叫後代世世頌仰就是他留下的神靈了空中並無登雲駕霧的活形拿一張紙寫上甚麼符用火燒了這就來了神你說有多們荒唐啊要是把古時名人實學實事演說勸人敎衆人也要學那古人纔是勸人的正理呢在扶鸞勸人的意思總覺着作出勸人的詩來借着神仙名號那愚人自然就信服了可不知勸人的學必要叫人開了知識長了見聞曉得眞理纔能自强自立也就無妄爲的了事一味借神鬼名號愚弄人這不是不開人的知識專敎人迷信嗎要是天下人全迷信這箇鸞語那就一箇有用的人也沒有了你　有心勸人的千萬改了方針別行迷惑人的手段了

一是在理照在理的面子上看是專爲戒烟戒酒望實裡說到是聚匪的圈套了怎麼說呢世界上無論甚麼敎沒有不拿勸人行善爲本的敎裏頭的道理沒有不願意人人知道的在理的有上不告父母下不告妻子的話這叫甚麼道理呀爲頭目的全稱大法師這不是邪魔的名兒嗎種種行爲凡有爲匪作亂的在理的不是引起就是帮湊辦好事的地方一箇在理的也找不着不是匪党是甚麼呢從今以後本縣要是查出再有粘貼告白設壇聚會的一定是按律重辦你們各務正業千萬別聚這犯法的會了

一是花會花會同那押寶擲骰排九種種賭博全是犯法的事你　也都知道惟獨別的賭博多是無知男子入這法網這花會連婦女小孩也都害了那一屯有了會局鄰近各屯跑封的可就不離門啊勾引的老少男女天天求神禱鬼胡思亂想家務也不知整理了止事也不顧去作了有因此敗壞家產的有因此喪失廉恥的還有因此喪了性命的這纔是民間大害呢本縣一定要除去這箇根苗再有開設會局的非治重罪不可你　可別當兒戲呀你　要想發財還是得求自强的根本哪（未完）

叢談

●粵垣旗民源流　粵人稱旗籍人爲旗下佬其來粵原囘係由順治六年命耿仲明尙可喜率兵攻廣東餘黨俱挈家駐防十六年命平南王尙可喜駐粵東康熙廿二年三月尙可喜奏臣年七十精力已衰願歸老遼東有舊賜地畝房屋乏仍賜給臣量帶兩佐領甲兵並藩下閒丁孤寡老弱共四千三百九十四家計男婦二萬四千三百七十五名其歸途夫役口糧請敕部撥給旋經兵部奏平南王藩下官員兵丁六千名俱駐紮廣州府令平南王父子已令遷移此官兵應留廣州府令提督事遂輟亂徙藩之因吳三桂之轄從之其後管

●洋大紅　顏料中之洋大紅多出美力堅彼地有樹樹上有蟲俟蟲自落以布盛於樹下收之成大紅之色蟲名令作泥臘

NEWCHWANG, THURSDAY, JAN. 25, 1906.

CHINA'S NEW YEAR.

On China's New Year's Day, we wish the nation a new year laden with unprecedented happiness. The 32nd. year of Kuang su (光緒) promises to be the most memorable one in the annals of the present Imperial dynasty. The shackles that tied China, hand and foot, have broken. For the first time during last 10 years, China breathes freely. She is also awakening from the lethargy of centuries. And she has formed a new resolve that the old fossilized institutions must make room for a system modelled upon sound common sense and adapted to her peculiar conditions and needs at the present stage. Humanity and progress will be her watchword hence. Independence, in the full sense of the word, is the most precious trust she has just received. Will she rise equal to the glorious occasion? Can she guard the new trust with the jealous care of a gentleman who upholds his honour? An opportunity, vast in its possibilities and grand in its promises, has opened before her, with the dawn of the New Year. One, that, if not caught by the forelock, will be gone forever beyond her reach, never, never to return again. Will China catch her and lay a solid foundation for a proud honoured empire? Or, will she miss the chance, and shutting out the light of freedom, sink lower and lower down to the bottom of hopeless bondage? The gravest responsibility rests upon the shoulders of the statesmen of China who hold the reins of the State. They hold in their hands the destiny of 400,000,000 fellow countrymen. All the greater pities that those hundreds of millions of souls, lying yet in somnolent stupor, cannot realize what a critical crest of fortune they are tossed upon. They are so slow to be aroused to their senses. Most of what may be spoken to, with paternal severity or maternal solicitude, will fall cold upon their deafened ear. And how hard it will be to awake a responsive echo in their petrified hearts! Then, their ignorance exposes them to the danger of being easily led astray. And an army of wily seducers are abroad. Again, the superstitions and prejudices of the masses are very difficult to be overcome. They may be set upon at any moment to excesses of the Lienchow or Shanghai variety, which create fresh international complications, invariably to China's cost. Further, the incompetency and corruption so deep-seated in Chinese officialdom may defeat the worthy policies of the government. Over and above these, the worst danger lurks in the petty jealously among the highest dignitaries in power, and also in the powerful machinations ever at work and at war behind the throne.

Oh, that the banner of national unity should be planted fast over the throne; to rally the whole population under its patriotic folds!

Manned by such officers and crew, the ship of China has launched into the turbulent treacherous sea of the New Year. Look out sharp for the waylaying reefs. Keep a sleepless vigil for the threatening squall. Steer safe through the black stormy night. O, Captain, be firm and wary. Make, with your masterly hand at the wheel, unscathed and in triumph, for the promised haven beckoning to you!

A delightful soiree was held by Mrs. Thunder and Mr. H. A. Bush, assisted by Mr. Thunder, at the 'Blarney Castle' last Monday evening. Mr. and Mrs. Sammons, Mr. and Mrs. Segawa, Mr. and Mrs. Bandinel, Mr. and Mrs. Sargent, Mr. and Mrs. Van Ess, Miss Ohga, Mr. and Mrs. Stewart, Lt.-Col. Yokura, Capt. Sloss, Messrs. Higgs, McAllum, Bauer, Moore, Farmer, Alway, Oudin, Nagasaki, Inouye, Yendo, Edgar, Heuckendorff, Geo. Thomson, Waddilove, Hirsch, Okabe, Masada attended. Prof. Bellew treated the company to a fine spectacle of ball-punching feats. What with plenty of good music and singing in the drawing-room, the spacious billiard-turned into a scene of more lively diversion, and with toothsome delicacies served in the hall, every guest departed home with the cup of enjoyment filled to the brim.

The Newchwang Customs closes for the Chinese New Year holidays from yesterday to next Saturday, (the 27th).

The Administration Office also closes to-day and will open to-morrow only in the afternoon. No issue of the "M.D.R." will appear to-morrow (the 26th.) nor on next day (the 27th).

時刻

發報

昨日の氣溫　最高溫度二十五度三　最低溫度零下四度二

營口旅館料理店案內 (いろは順)

- 旅館 **第一營口ホテル** 元神廟街九十六號
- 旅館 **第二營口ホテル** 河岸通り
- 料理 **第三樓** 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛
- 料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎
- 旅館 **日營ホテル** 河月通り 店主 井上源吉
- 料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎
- 旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三程
- 旅館 **千代田旅館** 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ
- 料理 **沖の島** 永世街十八號 店主 中川彌三郎
- 料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好
- 旅館 **竹村館** 永世街二十二號(電話五一) 店主 麻田久二
- 旅館料理 **高砂ホテル 高砂亭** 西北街 店主片山小みつ (電話一四五番)
- 旅館 **彌生館** 永世街百六十七號
- 料理 **やよひ** 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎
- 料理 **滿月** 平野町百八十二號(電話一六二) 店主 青木勝惠
- 料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一
- 料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助
- 御料理 **まんなをし** 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松
- 料理 **松酒家** 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本壽三郎
- 料理 **醉花園**
- 旅館 **澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉
- 旅館 **大和館** 永世街六號 店主 前田九一郎
- 旅館料理 **金城ホテル** 永世街百六十六號
- **第二金城ホテル** 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎
- 旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
- 營口軍政署御用旅館 **東雲** 主任 谷口今朝太郎
- さるそば **第一更科** 營口元神廟街
- さるそば **第二更科** 永世街鶴の湯角
- 和洋御料理 **第二東京館** 元神廟街 店主 松田平四郎 東京一流 かき飯
- 洋和料理 本店 **松月亭** 營口元神廟街一四三号
- 和洋料理御旅館 支店 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案內

- 旅館料理業 **日營ホテル支店** 主任 井上源吉
- 御料理會席 **菊水館** 主任 朝枝園捷
- 旅館西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉
- 旅館料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基
- 御料理會席 **末廣屋** 主任 山根初之亟
- 御料理 **凱旋亭** 色々應御注文 主任 古谷庄太郎
- 御料理會席 **來々亭** 主任 石田清
- 御料理會席 **玉家** 主任 西野治三郎
- 遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎
- 旅館御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉

料理 鋤燒 **喜樂亭** 營口元神廟街 亭主 元權[illegible]

御旅館 天津 **芙蓉館** 駐屯軍御用 並西洋料理 (電話局十一番)

北京 **扶桑旅館** 東單牌樓大街路西 客室清潔料理鮮新

御旅館 **豊陽館** 上海(電話一〇六番) 日本郵船會社荷客取扱 歐米流船乘船取扱 館主 米田藤吉

弊店儀雜貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具

營口南永世街百廿七號 **森屋洋行**
大連大山通り二丁目 **仝支店**
遼陽西門外 代理店 **林洋行**
奉天小西門外 代理店 **米田洋行**

御徳用 新着品 急告
○食料鑵詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○龜甲万印醤油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○
營口永世街警察課前南へ入 **林屋洋行**

萬事勉强乘車乘船好位置 營口中央市場前
旅館 **東京樓** 店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)
即席和洋料理 **東京樓支店** (電話四十四番)
西洋料理仕出し御需應にず

和洋御料理 會席
一 弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二 奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 **日本館本店** (電話百三十番)
奉天小西門外大十字街北入橋町 **日本館支店**
各位樣

御旅館兼待合所 並にうどん、そば
今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前 若松家
各位樣

奉天日本旅館 **瀋陽館**
家屋宏壯清潔 接待優遇懇切
開放仝時=開業 奉天小西門外大街路北

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干壚魚 ○石灰
喜久洋行 永世街八十號(電話百五十二番)
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin,
General Store-keeper & Commission merchant

銘酒 **菊正宗** 新着!!
當分の内 營口明覽[?]年定價にて差上ます
祝新年 **雜貨商 加藤洋行** (營口電話八十番)
本店 支店 出張所 營口 天津日租界 北京 大阪 遼陽

爲替相場 (一月廿四日)

日本向 軍票百圓に付金九十五圓五十錢
上海は百圓に付六十七兩二錢五分
天津向は百圓に付一百〇八五圓五十錢
芝罘は天津と同直段
由豆行調

日本品最近物價表 加藤洋行調査

菊正宗	三斗九升入	銀二十圓
麒麟正宗	四斗四升入	同十七圓
菊正宗	瓶詰四打	同十五圓
全 醬油	三斗四升	同十圓
鮪	四打入	同十三圓
ラッキヨ 漬	五打	同十四圓五十錢
辛子 全	四打	同九圓五十錢
フキ 全	[illegible]	同八圓
[illegible]	[illegible]	同十四圓
[illegible]	[illegible]	同十三圓五十錢
鷲ミルク	仝	同十八圓

石炭 (飯塚工程局)
一上等塊炭 一噸ニ付 銀十八圓
一仝 切込 仝 五[illegible]圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙